



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月9日

上場会社名 株式会社マキヤ 上場取引所 東
 コード番号 9890 URL <http://www.makiya-group.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川原崎 康雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 矢部 利久 (TEL) 0545-36-1000
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	45,608	6.1	516	△16.7	729	△11.5	503	1.2
27年3月期第3四半期	42,983	1.4	620	11.5	824	7.6	497	13.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 538百万円 (△15.3%) 27年3月期第3四半期 635百万円 (16.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	50.41	—
27年3月期第3四半期	49.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	31,413	14,076	44.8	1,409.97
27年3月期	28,673	13,688	47.7	1,371.06

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,076百万円 27年3月期 13,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
28年3月期	—	7.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	6.2	680	5.8	1,000	9.7	520	7.8	52.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	10,540,200株	27年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	556,669株	27年3月期	556,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	9,983,551株	27年3月期3Q	9,983,596株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、政府の経済政策等により企業収益は改善傾向にあるなど、国内景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、個人消費につきましては、雇用環境並びに雇用者所得の改善により消費者マインドは持ち直しているものの、消費者物価が上昇傾向にあるなど、依然として不透明な状況となっております。

当小売業界におきましては、「競合店の出店」による「価格競争の激化」に加えて、円安の影響に伴う「原材料価格の上昇」による「仕入原価の上昇」等、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、『品揃え』の充実強化（「きめ細やかな」品揃えの充実）、『品質』の改善（「品質第一」「美味しさ」「鮮度」の追求）、『価格』政策（「核商品」の開発と「競合店対策」）、『売り方』の充実強化（「セルフ販売陳列・ボリューム陳列」の徹底と「時間帯別品揃え・製造」の徹底）、『サービス』の充実強化（明るく感じのいい「あいさつ」と「レジ対応」のレベルアップ）、『マネジメント』の徹底強化（「品切れ」の撲滅と「クリンリネス」）を図っております。

当第3四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、業態変更により「ハードオフ・オフハウス」1店舗を出店いたしました。

区分	店舗名	年月	備考
開店	ハードオフ・オフハウス富士宮ひばりが丘店（富士宮市）	平成27年12月	エスポットひばりが丘店を業態変更

①売上高

当第3四半期連結累計期間の売上高は、456億8百万円（前年同期比6.1%増）となりました。『フード（食品）部門』につきましては、競合店の影響等による下振れ要因はあったものの、「エスポット（フード）」「業務スーパー」「スーパー&業務スーパー」を中心に堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。『ノンフード（非食品）部門』につきましては、暖冬により冬物商品の販売が伸び悩んだものの、生活関連用品の売上が堅調に推移し、「エスポット（ノンフード）」は前年同期を上回る結果となりました。「ハードオフ」「エコモード」の専門店につきましても引続き堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

②営業利益及び経常利益

当第3四半期連結累計期間の営業利益は5億16百万円（前年同期比16.7%減）、経常利益は7億29百万円（前年同期比11.5%減）となりました。これは、新店計画要員も含めた人員増強による経費増加と新規開店店舗や改装店舗の一時経費の増加により販売費及び一般管理費が増加したことと、暖冬による冬物商品の販売不振によるものであります。

③親会社に帰属する四半期純利益

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、5億3百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は314億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億39百万円増加いたしました。

流動資産は91億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億76百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が12億7百万円、商品が10億56百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は222億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億63百万円増加いたしました。これは、新店舗の開店及び改装等により有形固定資産が3億4百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は173億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億51百万円増加いたしました。

流動負債は118億77百万円となり、前連結会計年度末と比較して17億15百万円増加いたしました。これは、買掛金が14億58百万円、短期借入金が1億71百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は54億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億36百万円増加いたしました。これは、長期借入金が5億50百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は140億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億88百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期における通期の業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	763,538	1,970,693
売掛金	403,470	580,755
商品	5,095,035	6,151,684
その他	404,677	440,248
貸倒引当金	△311	△437
流動資産合計	6,666,411	9,142,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,978,501	8,998,999
土地	7,080,148	7,226,751
その他(純額)	1,082,095	1,219,247
有形固定資産合計	17,140,744	17,444,998
無形固定資産	806,984	765,819
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,542,719	2,513,782
その他	1,532,025	1,546,211
貸倒引当金	△15,008	△4
投資その他の資産合計	4,059,736	4,059,990
固定資産合計	22,007,465	22,270,808
資産合計	28,673,877	31,413,752
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,503,636	5,962,594
短期借入金	3,076,897	3,248,146
未払法人税等	218,014	109,577
賞与引当金	91,252	134,411
役員賞与引当金	3,342	3,437
ポイント引当金	93,657	98,831
その他	2,175,241	2,320,276
流動負債合計	10,162,041	11,877,274
固定負債		
社債	90,500	59,000
長期借入金	2,271,111	2,821,253
退職給付に係る負債	681,151	668,763
役員退職慰労引当金	90,269	97,969
資産除去債務	478,541	492,007
その他	1,212,175	1,320,991
固定負債合計	4,823,748	5,459,984
負債合計	14,985,789	17,337,259

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	11,245,469	11,598,965
自己株式	△446,139	△446,153
株主資本合計	13,081,277	13,434,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621,033	644,497
退職給付に係る調整累計額	△14,223	△2,764
その他の包括利益累計額合計	606,810	641,733
純資産合計	13,688,087	14,076,492
負債純資産合計	28,673,877	31,413,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	42,983,712	45,608,833
売上原価	33,608,005	35,635,230
売上総利益	9,375,706	9,973,602
販売費及び一般管理費	8,755,678	9,457,225
営業利益	620,028	516,376
営業外収益		
受取利息	492	338
受取配当金	13,839	15,610
受取家賃	338,665	343,094
その他	92,707	107,064
営業外収益合計	445,704	466,106
営業外費用		
支払利息	46,583	44,985
不動産賃貸費用	184,829	177,056
その他	10,096	30,729
営業外費用合計	241,509	252,772
経常利益	824,222	729,711
特別損失		
店舗閉鎖損失	1,904	28,956
特別損失合計	1,904	28,956
税金等調整前四半期純利益	822,318	700,755
法人税、住民税及び事業税	281,927	225,498
法人税等調整額	43,235	△28,042
法人税等合計	325,162	197,455
四半期純利益	497,155	503,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	497,155	503,299

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	497,155	503,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,705	23,463
退職給付に係る調整額	4,555	11,459
その他の包括利益合計	138,260	34,923
四半期包括利益	635,416	538,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	635,416	538,222
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。